

令和6年度「生涯学習支援に関するアンケート」結果のご報告

1. 調査目的

各施設での生涯学習支援の理解と実施状況を調査し、普及のために必要な研修やツールを検討する

2. 調査方法

- ・実施時期：令和7年3月3日(月)～3月31日(月)
- ・対象施設：岐阜県内94病院（看護部長と管理者3名）
訪問看護ステーション（ランダムに115施設）
高齢者施設（ランダムに91施設）
- ・調査方法：Google フォーム

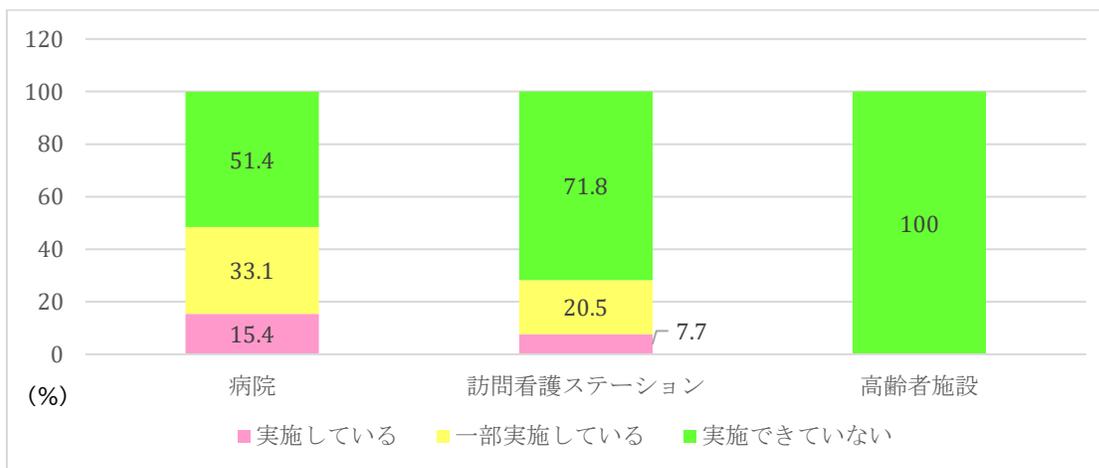
3. 回答率

- ・病院 46.5%（175名）
- ・訪問看護ステーション 33.9%（39名）
- ・高齢者施設 20.9%（19名）

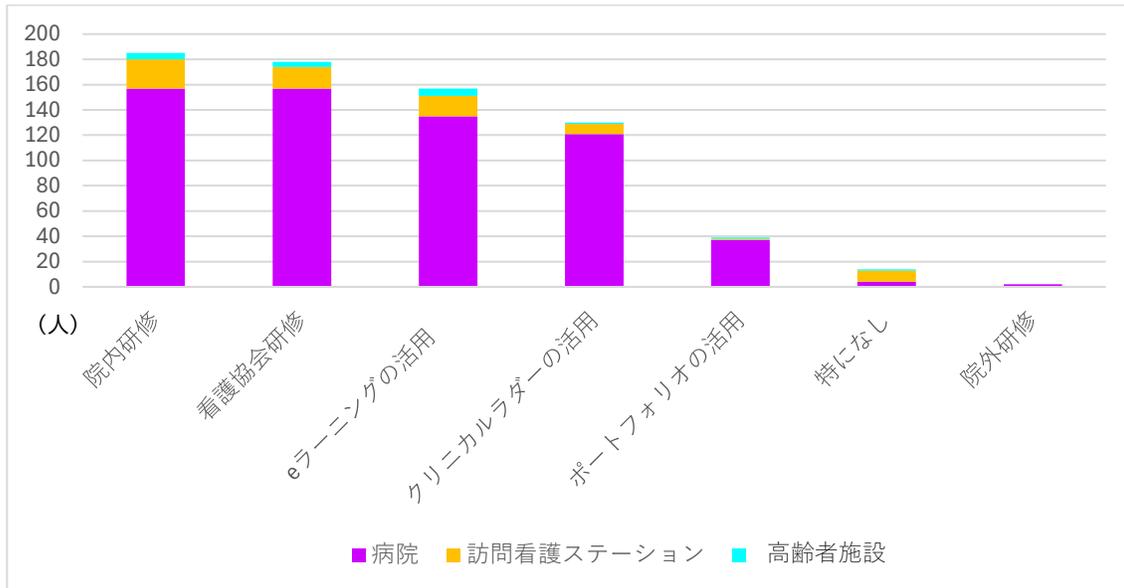
4. 主な結果と考察

(1) 教育の実施状況

質問：院内での生涯学習支援の実施状況をお答えください。



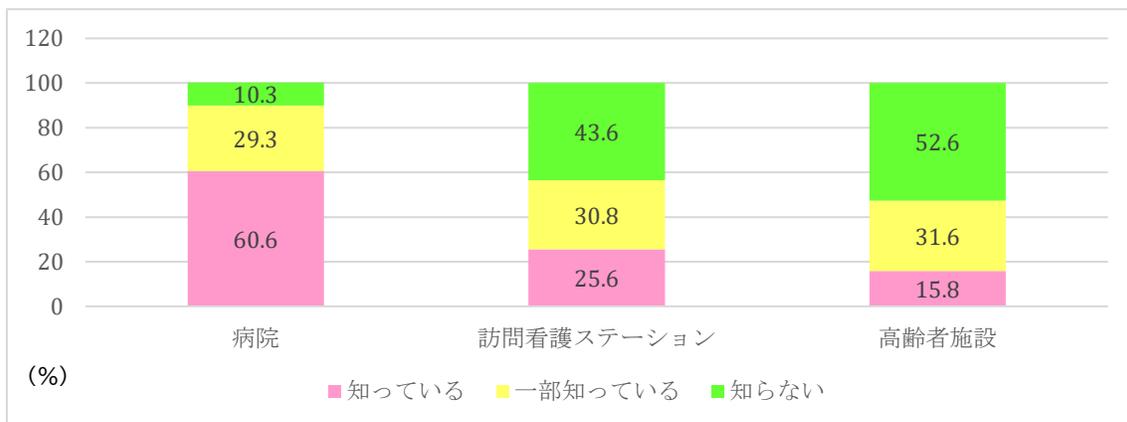
質問：現在のご施設での教育はどのように行っていますか。



病院では院内研修やクリニカルラダーを活用しており、ポートフォリオやeラーニングの導入など生涯学習支援に取り組んでいました。一方、訪問看護ステーションや高齢者施設は病院程取り組めていないことが分かりました。自由記載から、教育人材不足や研修参加のため勤務調整の難しさなどの課題がうかがえました。

(2) 「生涯学習支援」の認知度

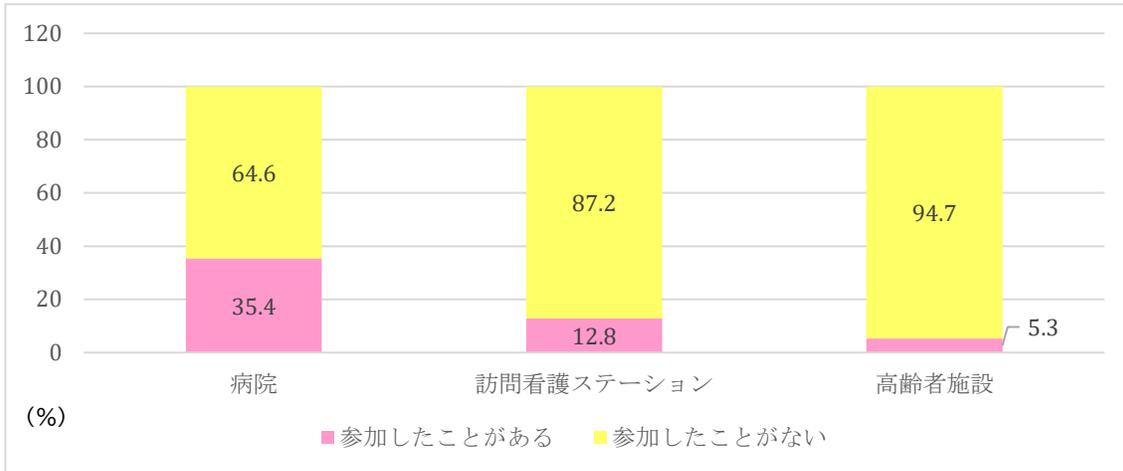
質問：日本看護協会が提唱する“生涯学習支援”はご存じですか。



日本看護協会が提唱する“生涯学習支援”を「知っている」「一部知っている」と回答したのは、病院 89.9%、訪問看護ステーション 56.4%、高齢者施設 47.4%でした。回答率から見ると、訪問看護ステーションや高齢者施設では、周知が十分でない現状が明らかとなりました。今後、看護協会での生涯学習支援研修の継続や看護管理者への情報発信の強化が必要と考えられます。

(3) 協会研修への参加状況

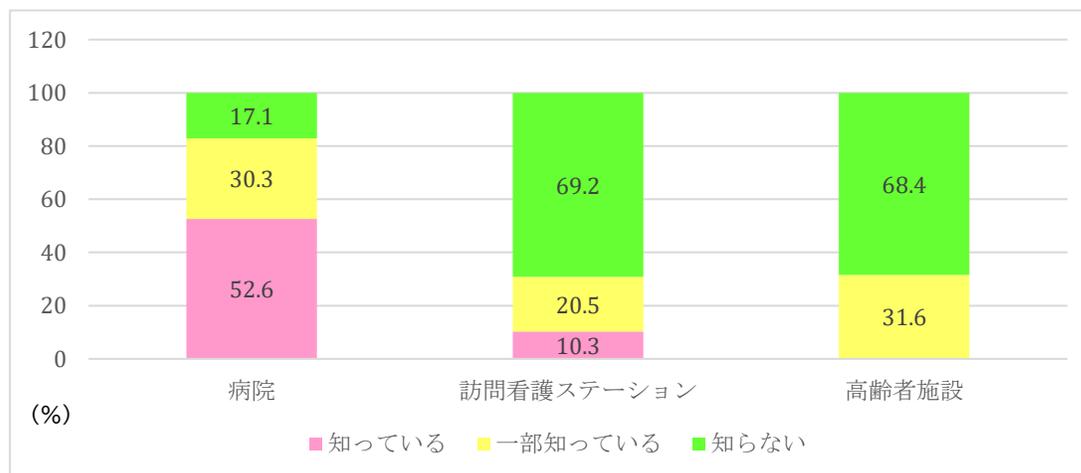
質問：今までの生涯学習支援に関する研修参加の有無をお答えください。



「参加したことがない」と回答したのは、病院が64.6%、訪問看護ステーションが87.2%、高齢者施設が94.7%でした。自由記載による参加が難しい理由として「勤務調整の困難さ」「テーマの適合性」「研修会場への移動負担」などが挙げられていました。一方で「オンライン研修なら参加しやすい」との意見も寄せられました。看護協会では、オンライン研修を取り入れてきていますが、引き続き進めていく必要があります。

(4) 生涯学習支援ツールの認知度

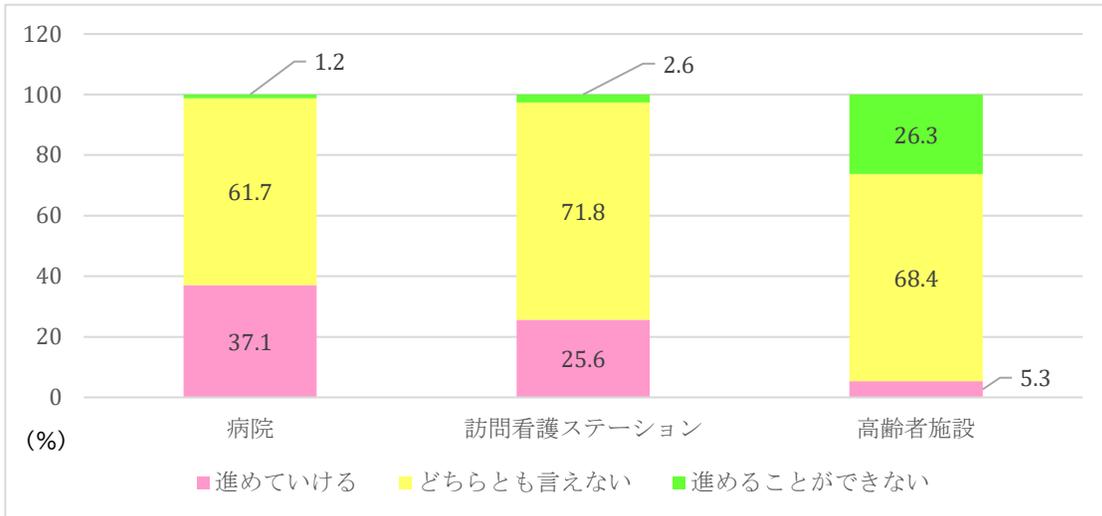
質問：「看護職の生涯学習ガイドライン」「看護師のまなびサポートブック」「生涯学習支援ガイドブック」をご存じですか。



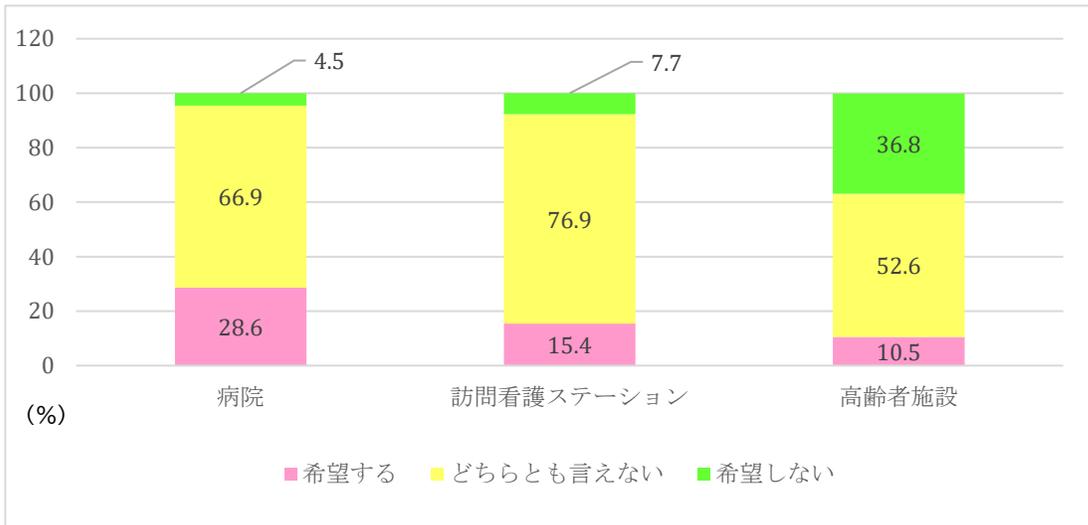
「看護職の生涯学習ガイドライン」「看護師のまなびサポートブック」「生涯学習支援ガイドブック」などのツールについて「知らない」と回答したのは、病院17.1%、訪問看護ステーション69.2%、高齢者施設では68.4%でした。特に、訪問看護ステーションや高齢者施設では、6割以上「知らない」ことが分かりました。様々な機会を活用し周知に努める必要があります。

(5) 今後の学習意欲と支援ニーズ

質問：今後、生涯学習支援を進めていくことはできますか。



質問：生涯学習支援に関する研修を希望しますか。



生涯学習支援を「進めていける」、研修を「希望する」と回答した施設もあります。一方で「どちらとも言えない」と回答したのは、病院が66.9%、訪問看護ステーションが76.9%、高齢者施設が52.6%でした。その理由として「勤務時間外の学習が負担」「職場内の支援体制が不十分」と、課題も見られました。加えて、「施設外学習支援（看護協会などによる支援）に関する研修を希望する」と回答した施設があるため、看護協会の生涯学習支援体制の強化が必要であると考えます。

5. おわりに

この調査により、生涯学習の認知度や院内教育・ポートフォリオやeラーニング等の活用による教育体制が分かりました。また、施設規模や教育体制の違いによる学びの機会の差が明らかになりました。

こうした状況を踏まえ、岐阜県看護協会では令和7年度に、小規模病院や施設等を対象とした生涯学習支援研修、育児休暇中の看護職を対象とした交流会を開催しました。また、各組織の看護職代表者との意見交換会を実施し、生涯学習支援の現状や課題について共有しました。

さらに当協会では、看護を取り巻く社会の変化を見据え、2040年に向けて取り組むべき課題や今後の活動の方向性を検討し、令和7年6月に「岐阜県看護協会のあり方～2040年を展望して～」を公表しています。

これらの方針および生涯学習の重要性を踏まえ、令和8年度は、県内の看護職一人ひとりが自分に合った研修を選べるように研修を企画します。また、看護職と看護職を雇用する組織双方の支援として、看護協会以外の研修などが幅広く紹介できる体制を整備してまいります。

本調査にご協力いただいた皆さまに深く感謝申し上げます。

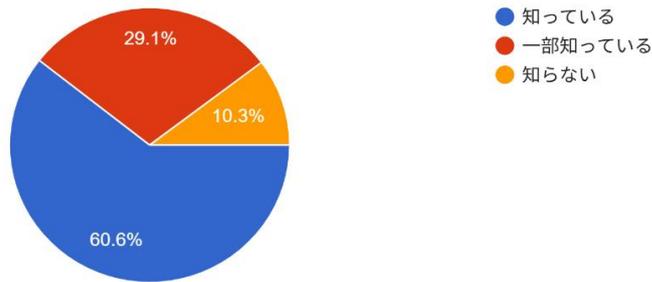
生涯学習支援に関するアンケート結果

病院 アンケート回収率：46.5%

1. 生涯学習支援の認知度

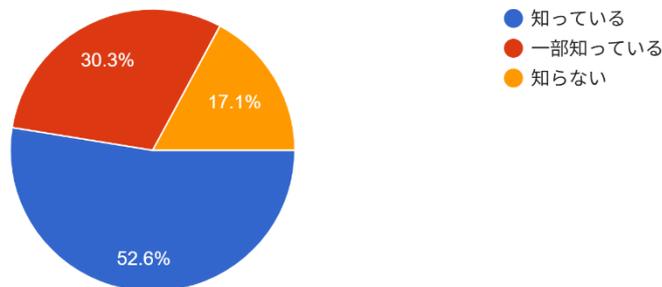
質問6. 日本看護協会が提唱する“生涯学習支援”はご存じですか。

175件の回答



質問8. 「看護師のまなびサポートブック」、「生涯学習ガイドライン」、「生涯学習支援ガイドブック」をご存知ですか。

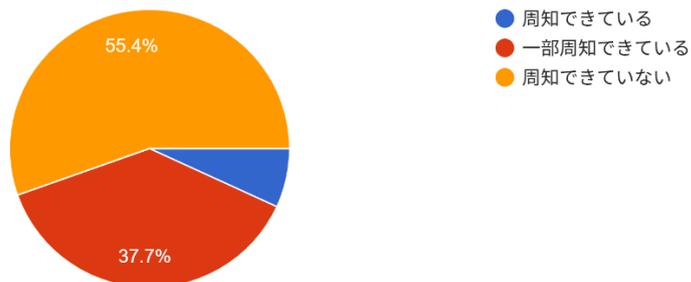
175件の回答



2. スタッフへの周知度

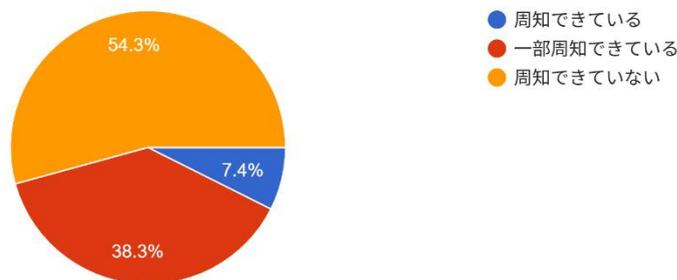
質問9. (質問8で“知っている”と答えた方)看護師のまなびサポートブック、生涯学習ガイドライン、生涯学習支援ガイドブックの自施設の職員の方への周知度をお答えください。

175件の回答



質問10. 生涯学習支援に対する自施設の職員の方への周知度をお答えください。

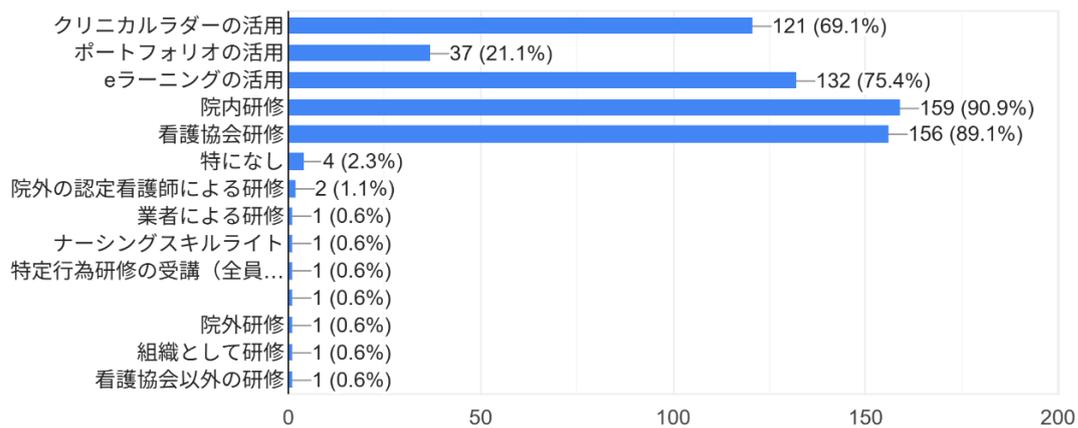
175件の回答



3. 生涯学習支援の実施状況

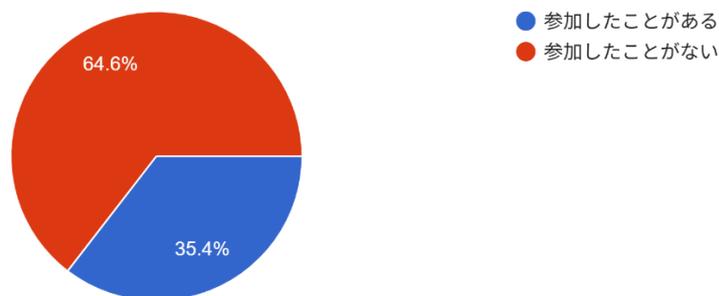
質問 5. 現在のご施設での教育はどのように行なっているか、以下より選択してください。(複数選択可)

175件の回答



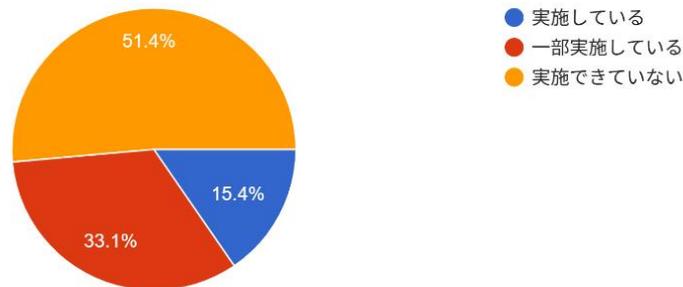
質問7. 今までの生涯学習支援に関する研修参加の有無をお答えください。

175件の回答



質問11. 院内での生涯学習支援の実施状況をお答えください。

175件の回答



<実施できない理由としての意見>

- 日々の業務に追われ、時間の確保が困難
- 計画的な研修が院内でできていない
- 学習環境が整っていない
- 管理者が生涯学習支援を理解できていない
- 院内研修等の研修や「クリニカルラダー」は取り入れているが、生涯学習の周知ができていない
- 看護協会員がいない。看護協会員が少なく、認知度が低い
- 生涯学習支援という言葉すら知らないスタッフがいる状況にある

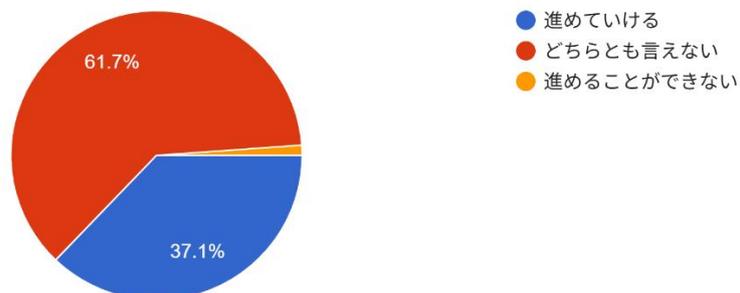
4. 生涯学習支援について難しいことや困っていることなど自由記載の意見（一部抜粋）

- 看護師不足
- どんなことをしたらいいのかわからない
- 時間外の研修は出席率が低いため、出席したいと思える研修プログラムにしたいが難しい
- 個々のモチベーションの差がある
- 看護師個人の学習意欲に左右されること
- 若手看護師が今後の看護師としてのキャリアについて考えない人が多くなってきている
- ある一定の年代では学習へのモチベーションが低下している
- 研修に参加しない職員がいる
- 生涯学習に取り組むほどの意識の高い職員が少ないように思う
- 機会があれば看護協会での研修に参加し自施設で取り組めることがあるのか参考にしてみたい

5. 生涯学習支援について今後の啓蒙や研修参加への意向

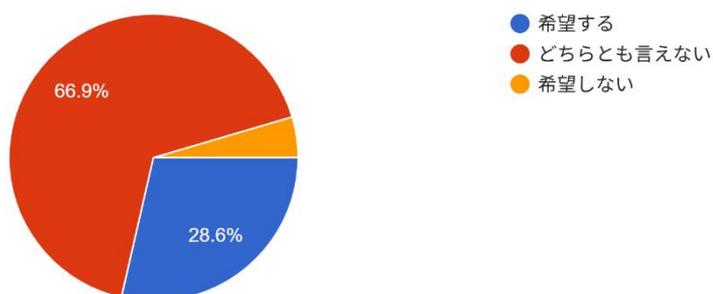
質問13. 今後生涯学習支援を進めていくことはできますか。

175 件の回答



質問14. 生涯学習支援に関する研修を希望しますか。

175 件の回答



<希望する研修内容>

- 生涯学習の基本的な考え方、あり方
- キャリアパスを含んだ生涯学習
- 生涯学習に関する考え方、研修の構成、キャリア形成について
- 生涯学習を支援する側の取り組み方
- スタッフへの啓蒙方法

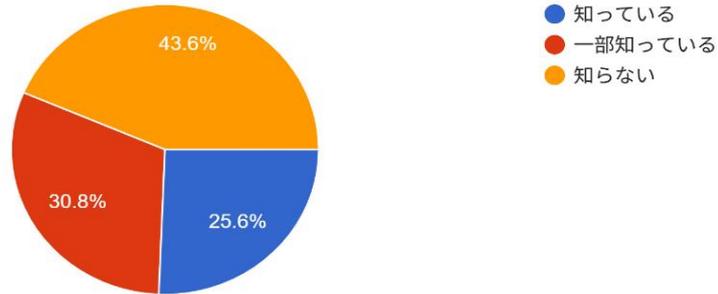
生涯学習支援に関するアンケート結果

訪問看護ステーション アンケート回収率：33.9%

1. 生涯学習支援の認知度

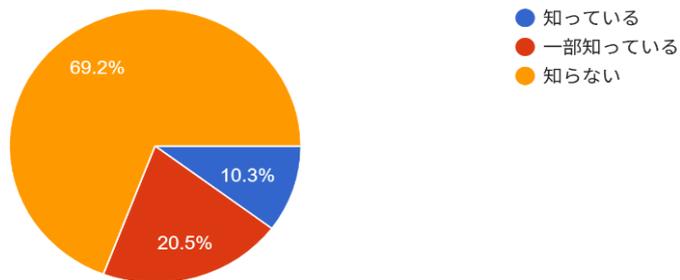
質問4. 日本看護協会が提唱する“生涯学習支援”はご存じですか。

39件の回答



質問6. 看護師のまなびサポートブック、生涯学習ガイドライン、生涯学習支援ガイドブックをご存知ですか。

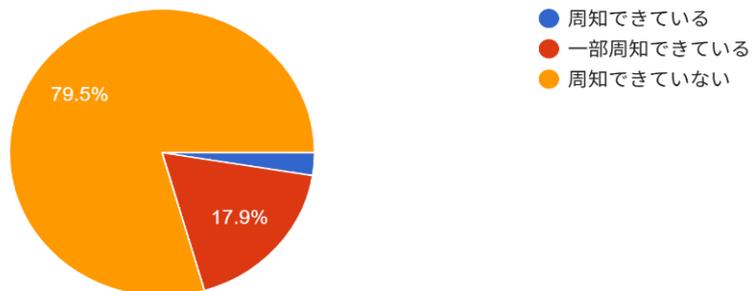
39件の回答



2. スタッフへの周知度

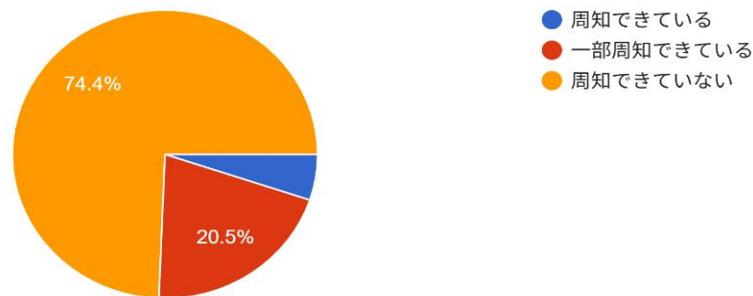
質問7. (質問6で“知っている”と答えた方)看護師のまなびサポートブック、生涯学習ガイドライン、生涯学習支援ガイドブックの自施設の職員の方への周知度をお答えください。

39件の回答



質問8. 生涯学習支援に対する自施設の職員の方への周知度をお答えください。

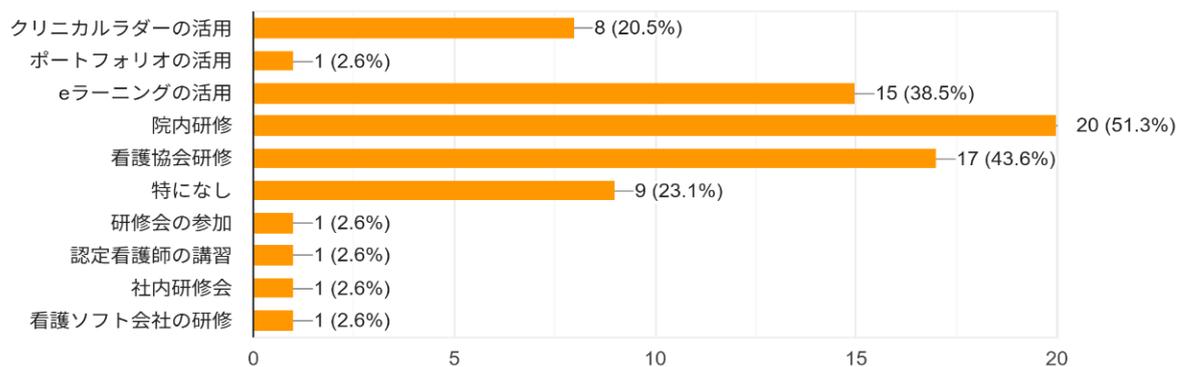
39件の回答



3. 生涯学習支援の実施状況

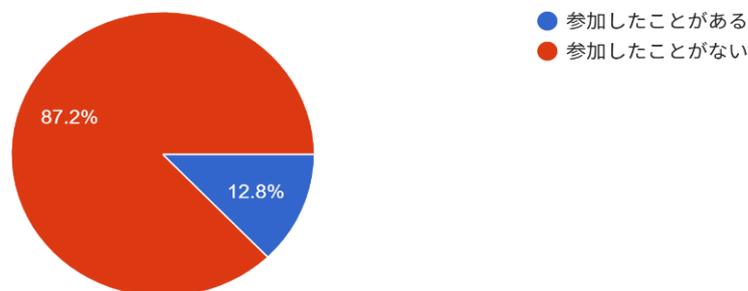
質問3. 現在のご施設での教育はどのように行なっているか、以下より選択してください。

39件の回答



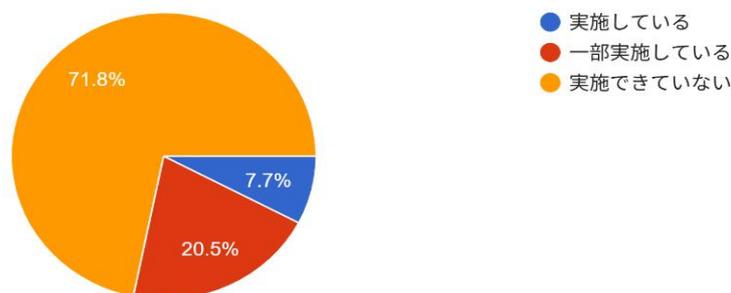
質問5. 今までの生涯学習支援に関する研修参加の有無をお答えください。

39件の回答



質問9. 院内での生涯学習支援の実施状況をお答えください。

39件の回答



<実施できない理由としての意見>

- 自身の理解不足
- 知識がないから
- 内容等を詳しく知らない
- 教育に関わるスタッフは周知できているが、全体的にはまだまだである
- 時間の余裕がない
- 開業して間がなく余裕がなかった
- ラダー研修に活用しているが、すべての職員が行っているわけではない

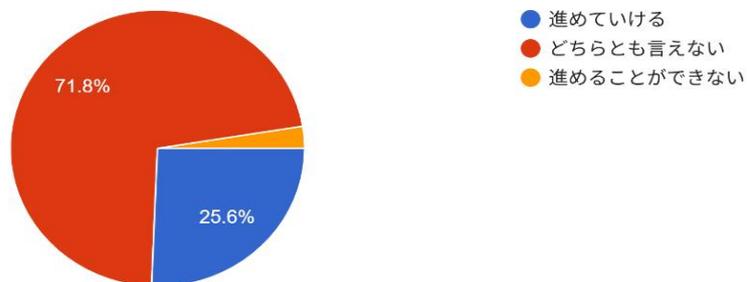
4. 生涯学習支援について難しいことや困っていることなど自由記載の意見（一部抜粋）

- スタッフ不足により、参加日が合わないことや、家庭環境から参加が難しい
- 人員不足により日々の業務で手一杯になっている
- スタッフの人数が少ない
- 思うように時間が取れない
- 勤務の調整
- 時間と保証
- 年配の方にマンネリ化だと言われた
- Eラーニングを全員に進めるのが難しい
- 全看護師に共通する内容と分野に特化した内容を、どう進めるか
- 具体的な内容をきちんと把握できていない
- 内容を知ることが必要だが知る手段がない
- ガイドブックを配布していただくと周知しやすい
- 法人が、若いスタッフの研修や教育に手一杯ではないでしょうか？
- 地理的に難しい

5. 生涯学習支援について今後の啓蒙や研修参加への意向

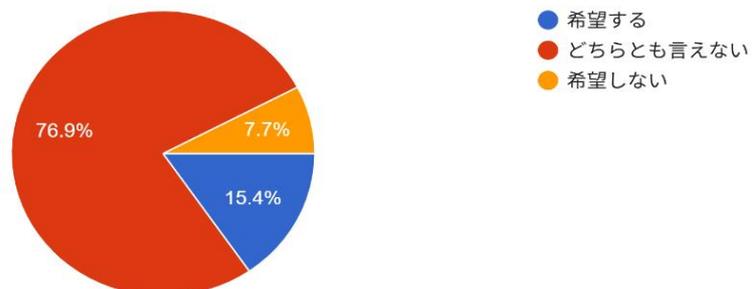
質問11. 今後生涯学習支援を進めていくことはできますか。

39 件の回答



質問12. 生涯学習支援に関する研修を希望しますか。

39 件の回答



<希望する研修内容>

- 看護全般の基礎知識、外来看護、施設看護、訪問看護それぞれに求められる看護
- WEB 研修
- ACP や在宅支援
- 在宅、訪問看護関連の研修

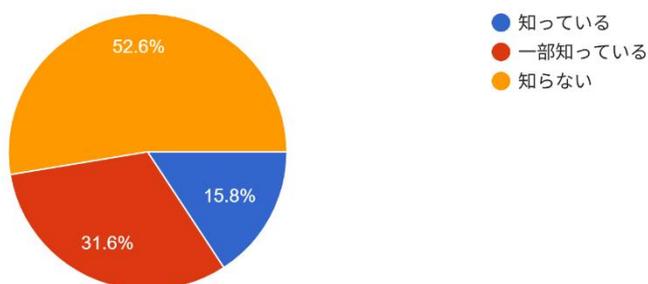
生涯学習支援に関するアンケート結果

高齢者施設 アンケート回収率：20.9%

1. 生涯学習支援の認知度

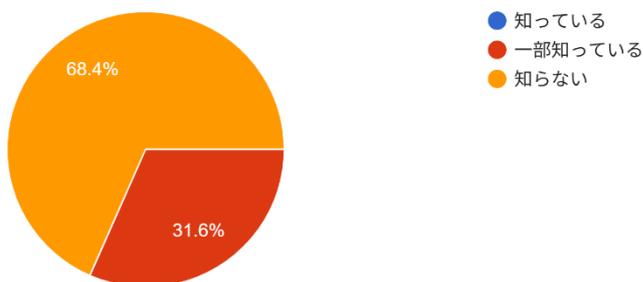
質問5. 日本看護協会が提唱する“生涯学習支援”はご存じですか。

19件の回答



質問 6. 看護師のまなびサポートブック、生涯学習ガイドライン、生涯学習支援ガイドブックをご存知です

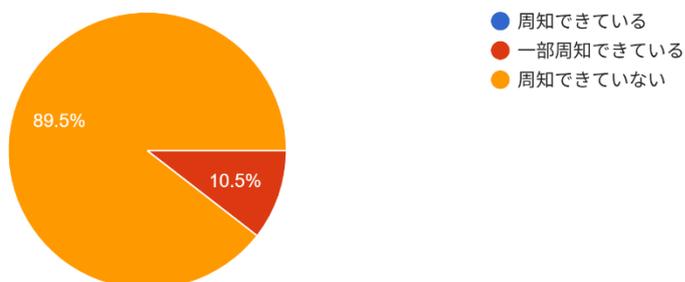
19件の回答



2. スタッフへの周知度

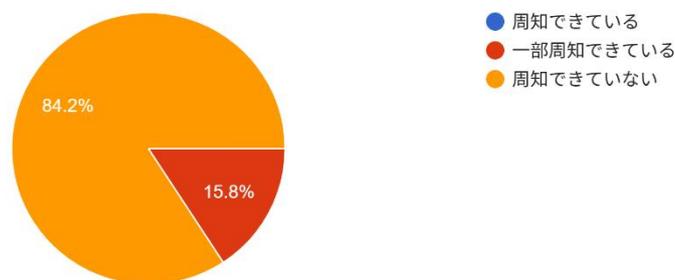
質問 7. (質問 6 で“知っている”と答えた方)看護師のまなびサポートブック、生涯学習ガイドライン、生涯学習支援ガイドブックの自施設の職員の方への周知度をお答えください。

19件の回答



質問9. 生涯学習支援に対する自施設の職員の方への周知度をお答えください。

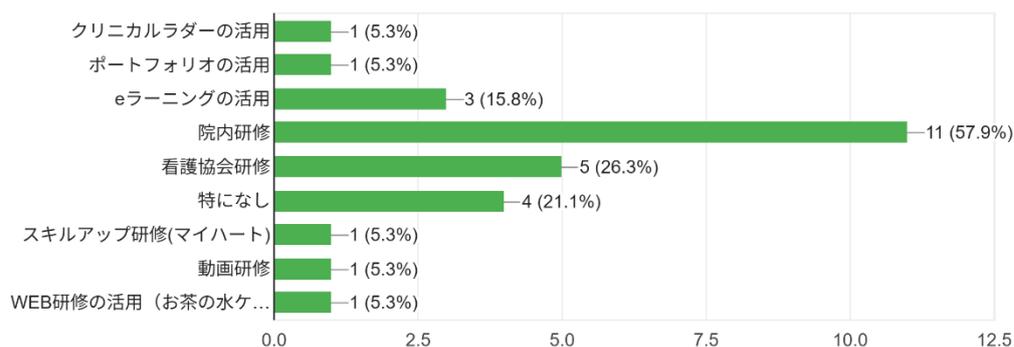
19件の回答



3. 生涯学習支援の実施状況

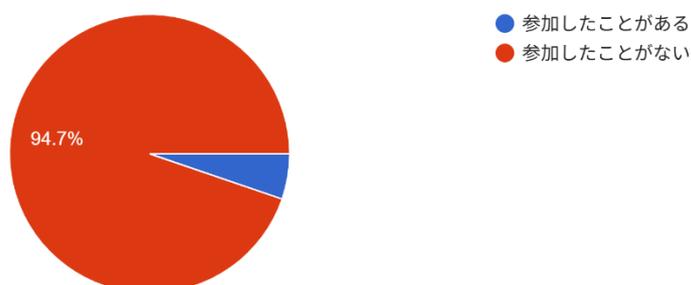
質問4. 現在の施設での教育はどのように行なっているか、以下より選択してください。(複数選択可)

19件の回答



質問6. 今までの生涯学習支援に関する研修参加の有無をお答えください。

19件の回答



質問10. 院内での生涯学習支援の実施状況をお答えください。

19件の回答



〈実施が進んでいない主な理由としての意見〉

- 制度そのものを知らないため
- 業務が多忙で時間が確保できない
- 看護師が1名のみであるため
- 看護職員の高齢化
- 介護職への指導時間が多く必要なため
- 独自の研修プログラムがあるため

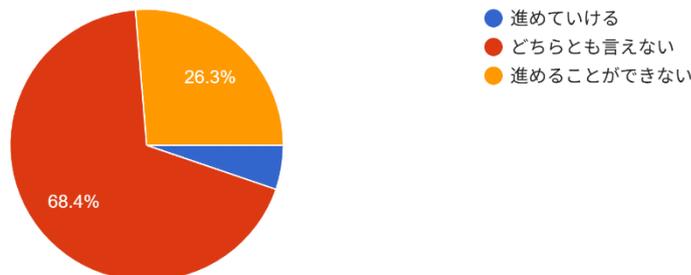
4. 生涯学習支援について難しいことや困っていることなど自由記載の意見

- 看護師の高齢化により研修への意欲が低い
- 現状維持を望む職員がいる
- モチベーションの維持が難しい
- 研修会の準備に手間がかかる
- 高齢者施設の特性上積極的な取り組みが難しい

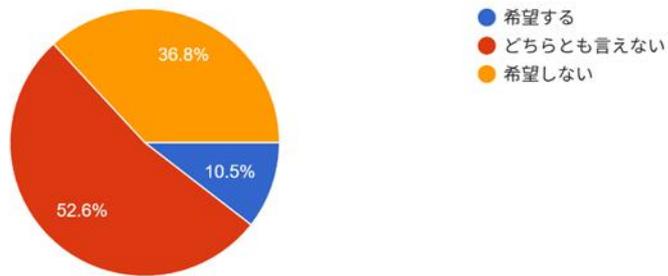
5. 生涯学習支援について今後の啓蒙や研修参加への意向

質問12. 今後生涯学習支援を進めていくことはできますか。

19件の回答



質問13. 生涯学習支援に関する研修を希望しますか。
19件の回答



<希望する研修内容>

- 生涯学習支援のリスト紹介
- 福施設における看護師の役割
- 認知症利用者の看護
- 実施施設の事例紹介
- 高齢者の看取り看護